

委員会等の動き



2023年度第1回 地域政策委員会を 開催

地域政策委員会

2023年度第1回地域政策委員会が、大西委員長（鶴雅ホールディングス(株)代表取締役社長）をはじめ、12名の委員（代理を含む）が参加する中、9月22日(金)に北農健保会館で開催されました。



冒頭の大西委員長のご挨拶では、5月8日に新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類へと引き下げられ、経済活動等の回復が進む一方、人手不足や燃料費・原材料費の高騰長期化、ALPS処理水放出に伴う中国による水産物輸入停止措置の影響も懸念される。こうした諸課題への対応を進めるとともに、アドベンチャートラベル・ワールドサミット開催、次世代半導体製造のラピダス社の千歳立地といった機会を北海道全体の活性化につなげ、IR（統合型リゾート）についても改めて前に進めていくタイミングではないか、とのお話がありました。

当日は以下の6つの議事について、事務局より説明を行い、活発なご議論を頂きました。

- (1)2023年度事業計画及び上期活動報告について
- (2)第9期北海道総合開発計画の検討状況について
- (3)冬季版ハイパフォーマンススポーツセンターの北海道設置に関する元オリンピックへのヒアリング結果
- (4)2024年度 国の施策および予算に関する要望の実施概要について
- (5)2024年度 北海道の施策および予算に関する要望について
- (6)Rapidus(株)の受け入れにおける経済界としての支援について

(1)「2023年度事業計画及び上期活動報告について」では、「スポーツアイランド北海道」推進に向けた2030年北海道・札幌冬季オリンピック・パラリンピック誘致活動やスポーツ合宿道内誘致に関する調査、北海道における「観光型MaaS」実現に向けた道外先進事例（九州MaaS）調査やそれに基づく具体的な取り組み検討など、上期の活動状況について報告致しました。

続いて、上期活動実績の中から2項目を取り上げ、詳細な内容説明を行いました。(2)「第9期北海道総合開発計画の検討状況について」では、計画の位置づけやこれまでの経緯、今年度中の閣議決定を目指して策定作業が進む第9期北海道総合開発計画案の概要をご説明するとともに、当会（真弓名誉会長）の意見申述内容及びその計画への反映状況についても報告致しました。(3)「冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）の北海道設置に関する元オリンピックへのヒアリング結果」においては、北海道におけるHPSC設置のあるべき姿を明らかにすべく、「競技・トレーニング環境の現状」「HPSCに

求めるもの」など6項目のヒアリング結果に基づき、「必要性の高い施設の先行整備」「冬季競技関係者の確保と連携体制構築」「競技人口増加・競技全体のレベル底上げに貢献できる施設」について提言致しました。

(4)「2024年度 国の施策および予算に関する要望の実施概要について」は、今年6-7月にかけて中央省庁等に対して要望活動を実施したものであり、物流の「2024年問題」や道内鉄道網維持を始めとした社会資本整備、国土強靱化等について頂いたご発言を紹介致しました。

また、(5)「2024年度 北海道の施策および予算に関する要望について」では、今年11-12月にかけて実施する予定の北海道庁への要望について、主な項目や方針について説明致しました。コロナ禍からの人流や経済活動の回復、深刻化・長期化する人手不足や燃料費・原材料費高騰といった足元の状況や次世代半導体産業集積といった新たな機会を踏まえて、観光や航空における応需体制の整備、物流・バス路線網の維持等の視点を加えつつ、引き続き所要の要望を継続していく予定です。

最後に、(6)「Rapidus(株)の受け入れにおける経済界としての支援について」として、当会ゼロカーボン・産業立地グループ及び当会が中心となって今年7月に設立した一般社団法人北海道新産業創造機構の活動について報告致しました。Rapidus(株)の千歳進出及びその後の関連産業集積においては、その効果をいかに道内企業に結び付けるかが課題であり、Rapidus(株)からの要望に関する道内企業への説明会開催、半導体ビジョン作成や次世代半導体産業と道内企業の取引可能性に係る調査受託等を進めているところです。

それぞれの議事における意見交換の中では、ご出席の各委員より、北海道庁が策定作業を

進める新たな「北海道総合計画」等のスケジュールに関するご質問を頂いた他、HPSCについて「『スポーツの振興』『スポーツ産業の振興』等、切り口によってあり方が変わってくる」、統合型リゾート(IR)について「国の観光立国推進基本計画に掲げるインバウンド消費15兆円という目標達成にも必要な施策であり、機会を逸することのないように議論、要望を行うべき」といった貴重なご意見を頂きました。

次回以降も、議事内容や開催形態について改善を図りつつ、多くの委員の皆様にご議論頂き、北海道の持続的な発展へとつなげていけるよう努めて参ります。

(地域政策グループ 桃井 真弥)